

平成28年度第1回(第8回)野州市子育て支援会議結果報告

1.開催日時・開催場所

日時：平成28年6月16日(木) 午前10時～正午

場所：野州市役所本館2階庁議室

2.出席委員

◆子育て支援会議委員

泉井 郁美委員(野州市保育所保護者連絡協議会代表)、上林 かおり委員(野州市PTA連絡協議会(幼稚園)代表)、高島 雅子委員(野州市PTA連絡協議会(小学校)代表)、柳原 光江委員(野州市PTA連絡協議会(小学校)代表)、原田 直樹委員(学童保育所連絡協議会代表)、山口 桂子委員(民間保育所代表)、水谷 威彦委員[○](野州市社会福祉協議会代表)、古橋 紗人子委員[◎](学識経験者)、苗村 正美委員(野州市民生委員児童委員協議会代表)、増田 多美子委員(野州市立小学校校長会代表)、安田 亮委員(事業者代表) 注)◎：会長、○：副会長

◆市側出席者

山仲市長、辻村健康福祉部政策監、三上こども課課長、瀬川こども課課長補佐、遠藤こども課課長補佐、井狩こども課課長補佐、吉川こども課主事

◆傍聴者 1名

3.議事案件

(1)野州市子ども・子育て支援事業計画の本年度の計画について

事務局より、野州市子ども・子育て支援事業計画の本年度の計画について、基本目標1「子育てにやさしい環境づくり」では、事業No.1、No.4、No.5、No.8及びNo.17、基本目標2「子どもの生きる力を育む環境づくり」では、事業No.3、No.8及びNo.14、基本目標3「すべての子どもが健やかに育つ環境づくり」では、事業No.8、No.12、No.14、No.15、No.17等の概要説明を行った。

◇委員からの主な意見・質問 ～要約～

(委員) 4月を迎える前に予め産前休暇等の長期休暇を取得されることが分かっているならば、担当していた幼児の年齢等を考慮し、休暇が先であっても4月からの対応が必要ではないかと思えます。

(委員) 実際の保育現場では、人材が不足しています。そうしたなかでは、難しいのではないかと思えます。

(委員) 学校と同様に、職員定員等が決められているなかでは、やむを得ない部分があると思えます。

(事務局) 出産等で休暇を取得する情報については、本人からの申請により、その事実を確認し、速やかに代替職員の募集を行っているところです。また、今後も、保護者様やお子様出来るだけ影響がないよう、可能な範囲で対応していきたいと考えています。

(委員) 近隣の市町では子育て施設のひとつとして児童館を活用されているが、本市においては、児童館や子育て支援センターが利用しやすい施設と言えないのではないかと思えます。もう少し、情報交換の場があればと思えます。

(委員) ニーズ調査を見ると、満足度では子育て支援センターなどの施設関係が充実していることが最も高い数値となっています。

(委員) 他市では児童館などの施設が身近なところにあつて、よく利用していました。身近なところに子育て支援施設があればと思えます。

- (事務局) 本市の児童館については、同和対策事業の一環として取り組んできたものであり、昨年度末には、同和対策事業の一般施策化に伴い、児童館を廃止しています。なお、和田の児童館施設（アリーナ）は一般利用が可能な施設として継続し、北比江の施設は耐震対策に課題があることから取壊しを行う計画です。また、身近なところの子育て支援については、貴重なご意見として受け止めていきたいと考えます。
- (委員) 仕事のための子育て支援ではなく、社会全体が子育てをしていく必要があると思います。特に、子どもが病気になった時など、子どもの健全育成などの観点からも親が自宅等で看護できるような社会の仕組みが必要だと思います。
- (委員) 転勤等でこちらに勤務される場合があるが、比較的野洲市に居住地をおくケースが少ないように思います。それは、行政と住民との認識のミスマッチや、近隣の町とどこが違うのか、またどこが優れているのかが分からないことにあると思います。優れている点については、うまくPRし、また、課題については、どのように充実させていくのかを本計画のなかで盛り込んでいく必要があると考えます。
- (委員) 野洲市は、他の町と比べて子育てをしやすいまちだと思います。特に、学童保育所においては、保育の内容、施設や保育料等で顕著に現れています。限られた財源等をどこにあてるかの問題であると考えます。
- (委員) 野洲市では、発達支援に力を入れていると思います。

4.報告事項

- (1) 野洲市保育人材バンク事業について
バンク機能を有した無料職業紹介所について、その機能と開設時期、対象職種、就労先事業所等の説明を行った。
- (2) 多子世帯等の利用者負担額について
本年4月1日から実施している「多子世帯」及び「ひとり親世帯等」の保育料の軽減措置の拡充について説明を行った。
- ◇委員からの主な意見・質問 ～要約～
- (委員) 保育料のランク区分が分かり難いと思います。
- (委員) 人材バンクの設立の趣旨であります量的な確保は十分に理解しますが、質の担保についてどのように考えているのか教えて頂きたいです。特に保育補助者についての取り扱いについて教えて頂きたいです。
- (事務局) 市としても、保育の質を担保しつつ量の確保を図っていきたく考えています。そうしたなか、人材バンクにおける保育補助者については、小学校教員免許取得者、子育て支援員や保育士資格や幼稚園教諭免許取得予定者等を想定しています。
- (委員) 事実上、無資格者についても就労可能となることから、一定期間までに保育士資格等を取得することを条件としてはどうですか。
- (事務局) 国や県の制度を活用しつつ、研修や保育士資格の取得に向けた仕組みづくりを検討していきたいと考えます。

5. その他

- ◇次回の野洲市子育て支援会議の予定について
実績報告に伴う会議を2月下旬から3月上旬頃に予定していることを報告した。